



2023年4月11日

各位

会社名 わらべや日洋ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 辻 英男
(コード番号 2918 東証プライム市場)
問合せ先 取締役専務執行役員 浅野 直
(TEL. 03-5363-7010)

マテリアリティ(重要課題)の特定に関するお知らせ

当社グループは、サステナビリティ委員会を2021年12月に設置し、グループとしてサステナビリティに取り組んでおります。

この度、グループ理念(私たちは「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて、お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。)の下、グループの持続的な成長と共に、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを目指し、本日、マテリアリティを下記のとおり特定しましたのでお知らせいたします。これらの課題解決を図るとともに、グループ全体の持続的な成長を目指してまいります。

記

1. マテリアリティ

マテリアリティ	課題の内容・目指す姿	課題を解決する手段
循環型社会への貢献 	脱炭素を推進し、環境負荷の低減を図り、循環型社会の実現を目指す	・CO2削減 ・脱プラスチック ・フードロス削減等
食の喜びの提供 	お客様の安全・安心で多様な食生活に貢献する	・おいしさの追求 ・品質管理の徹底 ・健康を考慮した商品の開発 ・中食の提供等による豊かなライフスタイル実現への貢献等
持続可能なサプライチェーンの実現 	気候変動や社会情勢変化に対応した安定的な食料の調達・供給	・安全・安心な食料の調達・供給 ・調達量を活かした農業活性化 ・海外も含めた食料調達・供給安定化等
働きがい、人権と多様性の尊重 	全ての人が活躍できる仕組みの確立	・多様な人材が活躍できる職場環境の提供 ・ダイバーシティの推進 ・教育などの人材投資強化等
強固な事業基盤の確立 	事業環境の変化に合わせた柔軟かつ迅速な対応力の強化	・ガバナンスの強化 ・パートナーシップの活用 ・IT、AIの活用

2. マテリアリティ特定のプロセス

1) 検討課題の抽出

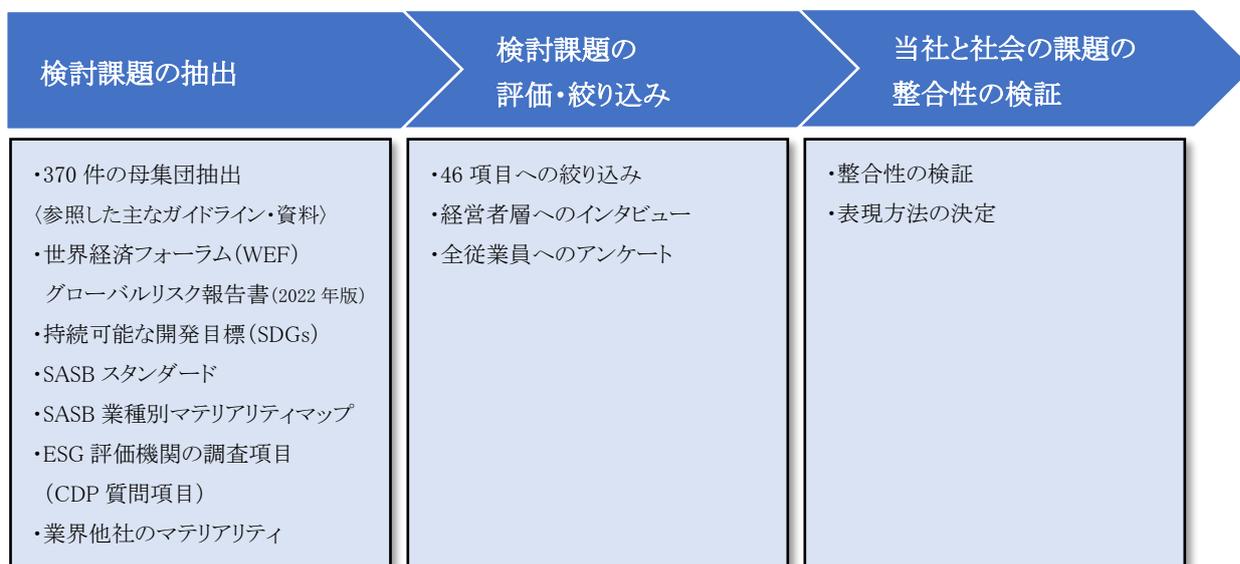
マテリアリティ特定に向け、企業理念を踏まえた上で、世界経済フォーラム(WEF)グローバルリスク報告書(2022年版)、持続可能な開発目標(SDGs)、SASBスタンダード、SASB業種別マテリアリティマップ、ESG評価機関の調査項目(CDP質問項目)、そして業界他社の取り組みに至るまで、幅広く370件の当社が取り組むべき課題の母集団を抽出いたしました。

2) 検討課題の評価・絞り込み

母集団から、社会と当社にとっての重要度を評価し、46項目まで絞り込みを行い、経営者層へのインタビューならびに全従業員へのアンケートを実施いたしました。全従業員に対し、自分事として考える機会を設けたことで、アンケート回答率96%という高い関心を得ることが出来ました。

3) 当社と社会の課題の整合性の検証

当社の中長期的な経営における重要性、社会全体が抱える課題との整合性の検証を行い、5つのマテリアリティへの集約を行いました。



以上